

Labo NEWS

Aichi Association of Medical Technologists Report



らぼニュース

CONTENTS

- 巻頭言 輸血検査研究班の紹介 1
- 地区だより(尾張北地区) 2
- 令和7年度 管理運営研修会 3
- 令和7年度 愛臨技
スキルアップ研修会 4
- 令和7年度 日臨技中部圏支部研修会
「臨床生理研修会」 5
- NEW YEAR パーティー2026... 6
- 地区研修会 7
- 講演会・研究会 8
- 愛臨技HP求人情報掲載について
..... 9
- メールアドレス登録のお願い ... 9
- 基礎講座 10
- 会員執筆物の紹介原稿募集 ... 11

2025年11月1日現在 正会員数 4,020名

輸血検査研究班の紹介

—安全で確実な輸血を支える、知識と技術の継承—

輸血検査研究班 副班長 南里 隆憲

私たち輸血検査研究班は、「安全で確実な輸血検査を実践できる人材の育成」と「県内全体の技術水準の向上」を目的に活動しています。班員は20名で構成され、大学病院や基幹病院を中心に、中規模病院・地域中核病院、血液センターの技師が所属しています。輸血検査は、救急・手術・周産期・がん治療など幅広い診療領域を支える検査であり、日常業務の経験を生かしながら施設間の課題や工夫を共有できるのが、当研究班の大きな特色です。

例年、基礎から応用まで学べる教育プログラムとして、7月に開催する基礎講座をはじめ、研究会(6月・10月・2月)、講演会(12月)などを企画しています。基礎講座では、基本コースと応用コースに分け、血液型判定や交差適合試験、抗体同定など輸血検査の根幹となる実技や理論を丁寧に学び、初学者から指導者の立場の方まで安心して参加できる内容を重視しています。研究会では、実際の症例をもとに施設ごとの対応を紹介し、検査室で起こり得るトラブルや緊急対応について意見交換を行います。講演会では、臨床現場で活躍する専門家を招き、最新の輸血医療や安全管理体制、AIや自動化技術の活用など、時代に沿ったトピックを取り上げます。

また、愛知県臨床検査標準化協議会(AiCCLS)や愛臨技精度管理調査とも連携し、精度管理・判定基準の標準化にも積極的に取り組んでいます。特に、輸血検査では検体識別やオーダリング、情報システムとの連携が安全性に直結するため、実務に即した内容を共有することを心がけています。

輸血検査は“命をつなぐ検査”ともいわれます。目の前の検査一つひとつが患者さんの生命に直結しており、その責任とやりがいを感じながら、私たちは日々の業務と向き合っています。研究班では、若手技師から経験豊富な技師までが一緒に学び、語り合い、県内全体で輸血医療の質を高めていくことを目指しています。今後も、安全で信頼される輸血検査を支える仲間として、ともに成長できる場を提供してまいります。



【二子山古墳とハニワまつり】

みなさんは春日井市にも数多くの古墳があることをご存知でしょうか。春日井市内には約90基以上の古墳が確認され、現地に保存されているものもあります。今回はその中の一つ、二子山古墳をご紹介します。



こちらは春日井市ホームページより抜粋した写真です。右下の木に覆われている部分が二子山古墳です。この古墳は春日井市西部にある味美古墳群の一つで、6世紀前葉(約1500年前)に築造されたといわれ、墳長94メートルの市内で最大の前方後円墳(国指定史跡)です。この古墳からは円筒埴輪や人物・馬といった形象埴輪、高杯・器台のほか、脚付四連坏・子持蓋付脚付壺の特殊な形の須恵器が出土しており、これらの一部は隣接するハニワの館(写真中央にある青い丸い屋根の建物)で保管され、間近で見ることができます。二子山古墳より小さいですが、写真右上にあるものも古墳で、こちらは県指定史跡の白山神社古墳です。

実際にハニワの館の中に入るとずらりと埴輪が並んでいます。春日井市ホームページによりますと、古墳から実際に出土したものを「埴輪」、復元制作したものを「ハニワ」と表記しているそうなので、ガラ

スの奥が「埴輪」で手前が「ハニワ」ということになります。



二子山古墳から出土した埴輪にちなみ、毎年10月に「ハニワまつり」が開催され、今年も10月25日に開催されました。ハニワまつりでは、古墳消しゴム作りや勾玉作りの他、参加者が事前に作って乾燥させておいたハニワを当日会場にて野焼きで一晩かけて焼き上げます。様々な表情、形のハニワがずらりと並んで野焼きされる様子は豪快で見応えがあります。ここで焼き上げたハニワは、ハニワの館のほか春日井市内にあるふれあい緑道に飾られます。お近くにお越しの際はぜひ探してみてください。



令和7年度 管理運営研修会 開催案内

【テーマ】 「行動コミュニケーション ～行動特性を基に他者と円滑な人間関係や情報共有を行う能力～ を学んでみよう」

【内 容】 職場での“やりとり”に悩み、後輩育成・チーム連携・他部署や患者さんとの対話などに課題を感じている方へ向けた本研修会では、「行動コミュニケーション」を軸に“人の違い”を理解し、タイプ別の声かけや関わり方を学びます。これにより、臨床検査技師に求められる「育成力」と「対話力」を体系的に身につけ、現場で“人を育てる”リーダーシップのヒントを得ることができます。

【開催案内】 生涯教育履修点数 基礎教科：20点
日 時：令和8年1月17日(土) 15:00～17:00
参加方法：日臨技 HP から事前登録
令和7年12月1日(月)～令和8年1月12日(日)
定 員：80名
参 加 費：無料
場 所：ウインクあいち 11階 会議室1104
名古屋市中村区名駅4丁目4-38

【第 1 部】 ー 講 演 ー
「組織を強くする「育成力」(人材育成・マネジメント編)」
一般社団法人 行動コミュニケーション協会 代表理事 鈴木 崇司
司会：春日井市民病院 佐藤 由佳

【第 2 部】 ー 拠点ごとの人材育成取り組み ー
JA 愛知厚生連豊田厚生病院 田中 浩一
春日井市民病院 若林 弥生
司会：春日井市民病院 佐藤 由佳

【第 3 部】 ー 総合討論 ー
司会：愛知県臨床検査技師長協議会 会長 濱口 幸司
愛知県臨床検査技師会 会長 藤田 孝

共 催：愛知県臨床検査技師長協議会

問い合わせ：豊田厚生病院 田中 浩一
TEL：0565-43-5000(PHS7195)

令和7年度 愛臨技 スキルアップ研修会 『周産期の今！母と子をつなぐ検査推論』

～生理的变化と病的変化を読み解く～

令和7年度スキルアップ研修会は、現地開催とオンデマンド配信にて行います。内容は、周産期の2症例について、母体と児の側面から様々な検査データをもとに推論していく症例を紹介します。特別講演では、周産期医療現場の医師から周産期医療の今について講演をいただきます。

記

- 【申し込み】 令和7年12月8日(月)～令和8年1月24日(土)に 日臨技 HP 会員専用サイト から事前申込が必要です。
現地開催：愛臨技会員限定：50名
オンデマンド配信：YouTube 配信
- 【開催日時】 令和8年2月8日(日)13:00～16:30
オンデマンド配信：2月13日(金)～3月1日(日)
- 【開催場所】 リップルスクエア 名古屋市東区東桜 1-1-10 アーバンネット名古屋ビル20F
- 【参加費用】 無料
- 【配信方法】 事前申込者には、閲覧開始前までにメールで連絡致します。
- 【生涯教育】 専門：20点
オンデマンド配信は、レポート提出された会員のみ点数が付与されます。
閲覧後 Google フォームにてレポート入力、締切は3月6日(金)とさせていただきます。

【講演内容】

R-CPC 症例 1

司会 愛臨技理事 西垣 亮

R-CPC 症例 2

司会 愛臨技理事 杉浦 康行

[コメンテーター]

J A 愛知厚生連安城更生病院 谷澤 弘規

J A 愛知厚生連豊田厚生病院 松井 貴弘

J A 愛知厚生連海南病院 飯田百合香

名古屋市立大学病院 松井 竜三

藤田医科大学病院 及川 彰太

豊橋市民病院 濱田 智博

西尾市民病院 篠田 優菜

刈谷豊田総合病院 西尾 祐貴

(一社)半田市医師会健康管理センター 竹内実菜美

特別講演

司会 学術部門員 岡本 明紘

「周産期における最新のトピックス」

愛知医科大学病院 産科・婦人科 講師 幸村友季子

【問合せ先】 J A 愛知厚生連安城更生病院 臨床検査室 杉浦 康行 TEL：0566-75-2111
E-mail:y-sugiura@kosei.anjo.aichi.jp

令和7年度 日臨技中部圏支部研修会「臨床生理研修会」

【テーマ】「“わかる”から“できる”へ。実技でスキルを磨こう！」

【日 時】 令和8年2月14日(土) 13:00～17:00

15日(日) 9:00～12:00

【場 所】 ウィンク愛知 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38

【定 員】 現地参加 150名(申込期間：令和7年10月1日～令和8年1月20日)

【受講料】 現地参加(オンデマンド配信込み)：日臨技8,000円 非会員10,000円(消費税10%含む)

オンデマンド配信(講演のみ)：1,000円(消費税10%含む) *クレジットカード決済

【日 程】

①実技実習

a) 心臓・血管超音波検査 b) 腹部・表在超音波検査 c) 神経伝導検査

②講演

「スキルアップ脳波検査－電極装着とアーチファクト対策－」

富士脳障害研究所附属病院 杉山 聡 先生

「現場で役立つ！呼吸機能検査の基本と精度管理－ガイドラインを実践に活かす－」

金沢大学附属病院 中出 祐介 先生

「MR 診断ナビ－心エコーで究める逆流の真相－」

三重ハートセンター 松林 正人 先生

「AS を描く技師の眼：心エコーで診断を支える」

富山大学附属病院 中川 夏輝 先生

「基本から学ぶ！関節&肝臓エコー入門」

岐阜医療科学大学 松岡 涼太 先生

「見えない神経を“見える化”する技術－神経伝導検査とは－」

医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院 西脇 啓太 先生

③ワークショップ

「心電図判読について」

「呼吸機能検査について」～声かけの工夫で検査失敗をなくそう～

愛知県臨床検査技師会生理検査研究班班員

【研修会詳細】

- 1) 参加者の方には2日間を通じて、①～③をローテーションで受講していただきます。
- 2) 実技実習は a) ～ c) の中から申し込み時に第一希望～第三希望までを選択していただき、いずれか1つの実習を受けていただきます(先着順)。実機に触れて講師とマンツーマンで指導を受けることができます。
- 3) 講演ではスケジュールの都合上、現地で聴講できるのは2演題となります。聴講できなかった講演は後日、オンデマンド配信で視聴していただきます。現地聴講の演題は選択できません。予めご了承ください。
- 4) ワークショップでは心電図判読や呼吸機能検査の声掛けについて紹介し、ディスカッションや質疑にも対応する予定です。

New Yearパーティー2026 開催のお知らせ

新年のスタートを祝し「New Year パーティー2026」を下記の通り開催いたします。

今回、愛臨技では福利厚生を拡充し、参加費を『減額』しております。

“若手技師さん”も“ベテラン技師さん”も“賛助会員の皆さん”も、職場のお仲間、同級生、皆さんお声掛けのうえ、ご参加ください。

年初めの運試し！ステキな景品が当たる抽選会もご用意しています。

多数のご参加をお待ちしております。



記

日 時：2026年1月16日(金) 19:00～20:45(受付18:30開始)

場 所：伊太利食房 ZenZero 名駅店
名古屋市中村区名駅4-10-22 琥珀ビル2階
<https://zenzeronagoya.owst.jp>



対 象：会員、賛助会員(先着120名)
※賛助会員は1企業2名までとさせていただきます。

会 費：3,000円(税込)
当日、現金で徴収致します。なお、キャンセルは1週間前までにご連絡下さい。
1週間以内の場合は、キャンセル料が発生しますので、宜しくお願い致します。

申込方法：①会員番号(賛助会員は空欄) ②氏名 ③施設(企業)名(自宅会員は空欄)
④連絡先(アドレス)
をご記載のうえ、下記アドレス宛にお申し込みください。

申込期限：2025年12月29日(月)

問い合わせ先：愛知県臨床検査技師会 組織部長 和出弘章(ワデヒロアキ)
aamt.soshiki@gmail.com

研 修 会

西三河地区

基礎教科：20点

日 時：令和8年1月31日(土) 14:00～16:00

参加方法：日臨技 HP から事前登録

12月1日(月)～令和8年1月23日(金)

定 員：50名

参加費用：なし

開催方法：現地開催

場 所：八千代病院 2階会議室

テ ー マ：技師の教育について考える

講 師：

1. 中規模病院の事例紹介

トヨタ記念病院 廣田 元紀

2. 大規模病院の事例紹介 安城更生病院 石川 雅樹

3. ISO 取得施設の事例紹介

藤田医科大学病院 近藤 彩乃

司 会：藤田医科大学岡崎医療センター 西垣 亮

内 容：教育はどの業種・職種においても重要であり、特に検査室の運営においては教育の方法次第で検査結果の正確性・品質にも影響しうものと考えられます。今年度の研修会では「技師の教育について考える」をテーマとして、異なる病院規模の施設の講師から事例を紹介いただきます。新人に対する教育だけでなく、長期休職からの復職者に対する教育体制や、中途採用者への教育など、各施設での事例や工夫を紹介いただきます。また、講演後には講師と参加者で簡単なディスカッションも計画しています。各施設で教育・指導に関して抱えている課題を共有し、解決の糸口になるような機会になれば幸いです。

知多地区

基礎教科：20点

日 時：令和8年1月29日(木) 19:00～20:00

参加方法：日臨技 HP から事前登録

12月8日(月)～令和8年1月23日(金)

定 員：100名

参加費用：なし

開催方法：現地開催

場 所：半田市医師会健康管理センター 大ホール

テ ー マ：検査技師さんにも知っていただきたい最近の小児科トピックス～予防接種・感染症～

講 師：あいち小児保健医療総合センター 医長 河邊 慎司

司 会：あいち小児保健医療総合センター 坂野 俊和

内 容：子供たちに対する予防接種は2008年頃より対象となる感染症が増え、高いワクチン接種率を維持することで子供たちが守られている。さらに新たに可能となった検査や治療、社会情勢により小児感染症を取り巻く状況は変化している。今回はワクチンで予防できる病気(Vaccine Preventable Disease: VPD)を中心とした最近数年間で変化のあった小児感染症疾患についてご理解を深められるような時間を共有できるようにしたいと考えております。

尾張南地区

基礎教科：20点

日 時：令和8年1月31日(土) 15:00～17:00

参加方法：日臨技 HP から事前登録

12月1日(月)～令和8年1月23日(金)

定 員：80名

参加費用：なし

開催方法：現地開催

場 所：名古屋記念病院 研修センター1階

テ ー マ：広げよう臨床検査技師のフィールド

講 師：

1. 「スキン・フットケアチームにおける臨床検査技師の関わりーチーム医療での可能性ー」

新生会第一病院 伊藤明日香

2. 「“検査だけじゃない”臨床検査技師の可能性～輸血・細胞療法と災害医療チームへの参画～」

名古屋市立大学病院 南里 隆憲

司 会：名古屋市立大学病院 青木比早子

内 容：臨床検査技師が関わるチーム医療の形態は、病院や検査室の規模、経営形態などによって多様化しています。本研修会では、多岐にわたるフィールドでの新たな可能性に焦点を当て、2名の講師にご講演いただきます。前半は、透析医療を主体とする病院ならではの「スキン・フットケアチーム」における臨床検査技師の関わり方についてご紹介します。後半は、災害対応から最先端の細胞治療まで、臨床検査技師が多職種と連携しながら果たす役割をご紹介します。日本DMAT業務調整員としての災害派遣や院内災害対応等の経験と、輸血・細胞療法での多職種との協働を通じ、チーム医療がもたらす大きな力と可能性をお伝えします。

講演会

愛臨技会員：無料
日臨技非会員：2,000円(消費税10%含む)
県外会員：500円(消費税10%含む)

一般検査研究班

専門教科：20点

(レポートを提出した者に限る)

日時：12月13日(土) 15:00~17:00

参加方法：日臨技 HP から事前登録

11月1日(土)~12月10日(水)

※視聴方法は後日メールにて配信

定員：なし

参加費用：なし

レポート締切：12月13日(土)

開催方法：ライブ配信

テーマ：「腹水濾過濃縮再静注法(CART)を知る」

講師：

1. 「腹水濾過濃縮再静注法(CART)の基礎と臨床」

大阪赤十字病院 医療技術部 第一臨床工学技術課 課長
石原 健志

2. 「CART の目的と方法」

山下病院 臨床検査科 検査技師長 安田 信博

3. 「CART の検査とその評価」

山下病院 消化器内科 医長 山下 彩子

司会：修文大学 岩崎 卓識

小牧市民病院 前田 佳成

内容：CART（腹水濾過濃縮再静注法）はご存知でしょうか？難治性の腹水や胸水を採取し、有用な成分を濃縮して患者さんの体内に戻す治療法で、栄養状態の維持・改善や日常生活の質(QOL)向上を目指すものです。本講演会では、採取技術の実際、適切な検査方法、そして治療効果の臨牀的評価に焦点を当て、各分野の講師が深く掘り下げて解説いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

研究会

愛臨技会員：無料
日臨技非会員：2,000円(消費税10%含む)
県外会員：500円(消費税10%含む)

血液検査研究班

基礎教科：20点

日時：令和8年1月31日(土)15:00~17:00

参加方法：日臨技 HP から事前登録

12月1日(月)~令和8年1月31日(土)

定員：50名

開催方法：現地開催

場所：リップルスクエア(アーバンネット名古屋ビル 20F)

テーマ：「令和7年度愛臨技精度管理調査報告」、
「あなたの施設の“再検”はどこから？
~現場アンケートから見た基準の多様性~」

講師：

1. 「令和7年度愛臨技精度管理調査報告」

国立病院機構名古屋医療センター 後藤 勇也
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 入谷 康太

2. 「班員施設での再検基準の紹介」

稲沢厚生病院 中尾 謙太

司会：藤田医科大学病院 佐藤 聖子

内容：令和7年度の精度管理調査の結果報告と解説を行います。後半には班員施設で設定されている再検設定(主に血液像目視基準)についてアン

ケート調査し、結果を共有します。他施設の基準を知ることで、自施設の基準を客観的に見直すきっかけとなります。ぜひご参加ください。

事前参加登録なしでの当日参加も認めますが、事前参加登録を推奨しております。定員に達した場合は事前参加登録者優先のため、参加をお断りする場合がありますのでご了承ください。

生理検査研究班

基礎教科：20点

日時：令和8年1月17日(土) 15:00~17:00

参加方法：日臨技 HP から事前登録

12月1日(月)~令和8年1月17日(土)

定員：200名

場所：日本赤十字社愛知医療センター
名古屋第二病院 研修ホール

テーマ：令和7年度愛臨技精度管理報告

講師：

1. 愛臨技精度管理調査報告 総括

知多半島総合医療センター 花井甲太郎

2. 心電図検査

JA 愛知厚生連江南厚生病院 小島 光司

3. 腹部・表在超音波検査

岡崎市民病院 玉置 左弥

4. 心臓・血管超音波検査

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 海老名祐佳

5. 脳神経検査

JA 愛知厚生連豊田厚生病院 高本 智史

6. 呼吸機能検査

トヨタ記念病院 鍋谷 洋介

司 会：知多半島総合医療センター 花井甲太郎

内 容：令和7年度愛臨技精度管理調査報告会を開催いたします。令和7年度精度管理調査結果の報告と部門毎の設問について詳しく解説をします。皆様のご参加をお待ちしております。

事前参加登録なしでの当日参加も認めますが、事前参加登録を推奨しております。定員に達した場合は事前参加登録者優先のため、参加をお断りする場合がありますのでご了承ください。

微生物検査研究班

基礎教科：20点

日 時：令和8年1月17日(土) 14:00～17:00

参加方法：日臨技 HP から事前登録

12月18日(木)～令和8年1月17日(土)

定 員：120名

開催方法：現地開催

場 所：J A あいちビル14階 大会議室

テ マ：教育について考える

講 師：

1. 令和7年度愛臨技精度管理報告

J A 愛知厚生連 安城更生病院 杉浦 康行

2. 臨地実習生教育について

J A 愛知厚生連 豊田厚生病院 加藤 雄大

3. ローテーション中の新人教育について

J A 愛知厚生連 江南厚生病院 宮澤 翔吾

4. キャリア段階で考える微生物検査技師の教育 ー資格取得の意義とはー

小牧市民病院 西尾美津留

司 会：J A 愛知厚生 連安城更生病院 河内 誠

内 容：2025年度は「キャリア段階で考える、微生物検査技師として必要なスキルとは？」を年間テーマに、基礎から応用まで幅広い視点で学ぶ研究会を開催しています。その最終回となる今回は、「教育について考える」をテーマに掲げ、各施設での実践例やアンケート結果を交えながら、教育の在り方について多角的に考える機会とします。

新人教育、臨地実習生への指導、後輩育成、どの職場でも、きっと誰もが「どう教えるか」「どう伝えるか」に悩んでいるのではないのでしょうか。教育する側・される側の双方にとって、より良い学びと成長のサイクルを作るためのヒントを共有しましょう。

またキャリア段階ごとの教育や資格取得の意義についても取り上げ、教育を通して自分自身の成長をどう描くかについても考えます。

開催当日まで事前参加登録可能ですが、定員に達し次第締め切りとなります。また事前参加登録なしでの当日参加も認めますが、定員に達した場合は事前参加登録者優先のため、参加をお断りする場合があります。資料配布の関係上、可能な限り早目の事前登録にご協力ください。

愛臨技HP 求人情報掲載

愛臨技HPに臨床検査技師求人情報の掲載を始めました。

掲載を希望される会員は、愛臨技HP会員サイト内「各種手続き」、「求人掲載依頼」画面にて必要事項を入力、求人票登録をお願いいたします。

なお、求人掲載は施設会員のみとしますが、求人情報は会員以外でも閲覧可能です。

詳細は愛臨技HPにてご確認ください。

メールアドレス登録と受信設定のお願い

毎月会報『らばニュース』Web 版発行のお知らせを日臨技会員システムに登録されたアドレス宛にメール配信しています。その他、重要な情報提供、お知らせなどもメール配信させていただきます。会員の皆様には登録メールアドレスの確認と、変更がありましたら日臨技会員専用ページにて変更手続きをお願いいたします。また、迷惑メール防止の受信設定をされている方は、下記のメールアドレスからの受信ができるよう、設定をお願いいたします。ご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。

jamt_pref23@sys.jamt.or.jp

輸血検査研究班

基礎教科：20点

日時：令和8年1月10日(土) 15:00～17:30

参加方法：愛臨技 HP から事前登録
12月1日(月)～令和8年1月10日(土)

定員：80名

開催方法：現地開催

場所：名古屋市立大学病院 中央診療棟3階
大ホール

テーマ：「令和7年度精度管理報告会
～正しく輸血検査を行うために～」

講師：

1. 「令和7年度精度管理報告」
名古屋市立大学病院 南里 隆憲
2. 「他施設に学ぶ輸血検査の精度管理&目合わせ」
日本赤十字社 東海北陸ブロック血液センター 加藤 静帆

3. 「基礎から学ぶ不規則抗体検査と交差適合試験」

オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社
イムノヘマトロジー事業本部 マーケティング部 テクニカルサービス
吉田 純平

司会：愛知県がんセンター 早川 英樹

内容：前半は令和7年度の愛知県臨床検査技師会 精度管理調査の結果報告と解説を行います。

後半は、血液センターにおける輸血検査の精度管理と技師間差評価(目合わせ)を中心に、医療機関(輸血検査研究班班員施設)の精度管理と技師間差評価について紹介いたします。また、機器試薬メーカーの立場より、不規則抗体検査と交差適合試験の基礎についてご講演いただきます。新人の方はもちろん、改めて知識を整理したい方にもおすすめです。多くのご参加をお待ちしております。
※事前参加登録無しでの当日参加も可能ですが、定員に達した場合は事前登録者優先となり、当日参加をお断りする場合がございます。

基礎講座

血液検査研究班

専門教科：20点

日時：令和8年1月18日(日) 9:00～16:30

参加方法：愛臨技 HP から事前登録
12月1日(月)～26日(金)

定員：初心者コース20名程度、チャレンジコース20名程度、合計40名(応募者多数の場合は、業務経験年数等を考慮し、施設ごとに調整させていただきますのでご了承ください。)

参加費用：県内会員 3,000円(税込10%)
県外会員 3,500円(税込10%)
日臨技非会員 5,000円(税込10%)
※パスマーケットにて支払い

初心者コース：血液像目視経験ない方、血液像目視経験1年未満で不慣れな方を対象

チャレンジコース：血液像目視経験1年以上で正常標本の判読ができ、異常所見や疾患を意識した判読を学びたい方を対象

開催方法：現地開催

場所：藤田医科大学 3号館

テーマ：末梢血液像の見方

講師：

【午前】両コース共通

1. 「末梢血標本の見方」

豊田厚生病院 蒲澤 康晃

2. 「班員と細胞分類・症例検討してみよう！」

日赤愛知医療センター名古屋第二病院 白木 涼

3. 顕微鏡実習症例の解説

血液検査研究班班員

司会：愛知医科大学病院 鈴木 崇峰

【午後】

末梢血液像判読(顕微鏡実習)、グループディスカッション

※コースによって取り扱う症例や実習内容が異なります。

実習担当：血液検査研究班班員

※チャレンジコースの方は基本的な細胞分類が可能であれば、午前の講義は参加自由(午後の実習から参加も可)です。

講義不参加の場合でも参加費は3,000円とさせていただきます。講義資料は配布いたします。

内容：初心者コースとチャレンジコースの2コースがあります。午前の講義は両コース共通で、末梢血標本の基本的な見方について学び、様々な

細胞画像を見ながら細胞を分類、症例の推察をします。

午後の顕微鏡実習では症例標本から異常細胞の形態を観察します。症例標本を用いたグループディスカッションも実施します。

チャレンジコースでは時間の許す限り多くの症例標本を観察していただき、判読のポイントや診断の根拠となる所見の取り方を学びます。

日常で出会う頻度の多い症例から稀な症例まで幅広く観察できる貴重な機会です。

皆様のご参加をお待ちしております。

注意事項：参加の可否については、1月7日頃までにメールで参加費の支払い方法とともに連絡いたします。

※募集期間を過ぎてのキャンセル、本人の都合による返金は認めません。

遺伝子・染色体検査研究班と 病理細胞検査研究班の合同開催

専門教科：20点

日時：12月14日(日) 13:00～17:00

参加方法：日臨技 HP から事前登録
11月1日(土)～12月13日(土)

定員：50名

参加費用：2,000円(税込10%) (PassMarket にて事前支払)
※PassMarket チケット購入用URLは後日メールにて配信

開催方法：現地開催

場所：修文大学11号館

テーマ：病理検体の遺伝子検査を極める

1. 「遺伝子検査における基本的な病理組織検体の
取扱い方法～固定から検体作製を中心に～」

講師：名古屋大学医学部附属病院 船戸 連嗣

司会：公立陶生病院 柚木 浩良

2. 「遺伝子検査の実際～抽出から解析まで～」

講師：日赤愛知医療センター名古屋第一病院 安村
奈緒子

司会：JA 愛知厚生連 安城更生病院 高須 大輔

3. 「遺伝子検査の基礎から運用の実際
～肺癌遺伝子検査を中心に～」

講師：日赤愛知医療センター名古屋第二病院

向出 将人

司会：JA 愛知厚生連 安城更生病院 杉浦 記弘

内容：病理検体を用いた遺伝子検査に関して、
検体採取から固定、薄切までのプレアナリシスの
管理や遺伝子抽出から解析までの解析工程の解説
に加えて、肺癌の遺伝子検査の実際といった講演
を行います。後半は実際に遺伝子検査に提出して
検査が可能であった／不可能であった症例の検討
会を予定しています。腫瘍細胞不足などで解析が
不能であった症例や、検体量が少ない割に解析に
成功した症例などの標本を実際に鏡検していただ
きます。自施設の病理検体を用いた遺伝子解析の
成功率向上の参考となれば幸いです。

会員執筆物の紹介原稿募集します！

会員の業績紹介の一つの方法として、らぼニュースにて論文、書籍執筆(分担執筆を含む)などの紹介掲載を受け付けます。自薦・他薦は問いません。

掲載を希望される方は愛臨技 HP【会員サイト】(各種手続き)に申請書、手続き方法を掲載してありますのでご覧いただき、お申し込みください。



愛臨技 HP